

用語集

・アロザイム多型解析法

遺伝学的解析手法の一つ。酵素としての活性がほぼ同じでありながら、タンパク質分子としては別種である（アミノ酸配列が異なる）ような酵素をアイソザイムといい、中でも、同じ種類の遺伝子（ただし別の個体の遺伝子、または同一個体中の対立遺伝子であって、配列がわずかに異なる）に由来するものをアロザイムとして区別する。

アロザイムの比率やその内容を検査することにより、単に集団の「区別」や、移動などの分布の変化や交雑などを含めた「変化」の結果を観察するための指標としても利用することができる。これらアロザイムの性質に基づいて、これをマーカーとして利用した解析をアロザイム解析という。

・遺伝子流動

ある地域に生息する特定生物種の集団に、外部から異なる地域の遺伝子が入り交雑すること。

・羽片

シダ植物の部位の名称。シダの葉のうち、鳥の羽のような形をした複葉を構成する個々の葉身のこと。

・エコアップ

自然環境が衰退した地域の生物的環境を改善していくこと。

・エコツーリズム

ツーリズム（旅行・旅）の形態の一種で、自然環境の観察や体験を伴うツーリズム。原生自然的な体験だけでなく、里山の二次自然への体験、学習も含み、近年では地域の歴史・暮らし文化の体験、学習も含める場合も

ある。

・オゾン

「光化学オキシダント」参照。

・オゾンゾンデ

地上から約35キロメートルまでの大気中のオゾン濃度を計測する装置。

・オーバーユース

多くの利用者が入ることにより自然環境に対して、環境劣化など負の影響を生じさせること。過剰利用。

・オープントップチャンバー

空気浄化施設の一種で、内部の温度上昇を抑えるために天井を開放型にしたもの。

・かながわパークレンジャー

登山道の計画的な巡視と施設の点検、応急補修、自然公園利用のマナーの普及、動植物の継続的な見守り、ボランティアやNPOと協働した自然環境保全活動を実施することを目的に、平成19年度から自然環境保全センターに配置されている職員。

・管理ユニット

神奈川独自の取り組みとして、地形や植生を考慮してシカ保護管理区域を56に分割した区画。ユニット毎に情報を収集することで、地域特性に対応したきめ細かい保護管理事業を行うことが期待される。

・ギャップ

林床の暗い森林に出来た、林床まで光が差し込む隙間のこと。極相を迎えた極相林では、通常、背の高い陰樹により林冠が形成され、林内は暗い状態である。しかし、背の高い高木が倒れると、周囲を巻き込んで林冠に大き

な隙間を生じ、林床まで光が差し込む隙間が出来る。このため、新たな幼木が生長できる空間が出来る。

・ 菌株

微生物の単一種が一定量まとまって生育している状態。

・ 区画法

野生動物の調査法の一つ。調査地域を複数の区画に区分し、各調査区画に配置された調査員が一定時間区画内を歩き、動物を数える方法。

・ 溪畔林

河川上流の溪流の狭い谷底および隣接する谷壁斜面に成立する森林群集、水域と相互に影響し合いながら成立している。水域から陸域への連続性、さらに源流部から下流へ連続河川周辺の森林のうち、上流の狭い谷底や斜面にあるものを「溪畔林」、下流の氾濫原（洪水時に氾濫水に覆われる土地）にあるものを「河畔林」という。溪畔林にはサワグルミ、フサザクラなどが生育する。

・ 県営林経営計画

県が管理・経営する森林を県営林といい、県営林の面積は、10,280ヘクタールと県の森林面積の約11%を占めている。県営林には、県自らが土地を所有している森林（県有林）と、民有地に県が地上権を設定し、土地所有者に代わって県が造林を行っている森林（県行造林（けんこうぞうりん））がある。県営林の5カ年の管理・経営計画を定めたものが県営林経営計画であり、現在は第11次計画（計画期間：平成21年度～平成25年度）。

・ 光化学オキシダント

窒素酸化物や炭化水素等の大気中の汚染物

質が太陽光により光化学反応を起こすことによって二次的に生成されるオゾン、PAN（パーオキシアセチルナイトレート）等の酸化性物質の総称。

・ コドラート

調査する場所が一定となるように、正方形や長方形に区切った区画のこと。生物種の調査などの際によく用いられる手法で、その中で生物種の変化などを計測する。

・ 混交林

一般的には、広葉樹と針葉樹とが混生する森林のことをいう。

・ GIS

地理情報システム（geographic information system(s)）のこと。コンピュータ上に地図情報やさまざまな付加情報を持たせ、作成・保存・利用・管理し、地理情報を参照できるように表示・検索機能をもったシステム。人工衛星、現地踏査などから得られたデータを、空間、時間の面から分析・編集することができ、科学的調査、土地、施設や道路などの地理情報の管理、都市計画などに利用される。

・ 純光合成速度

光合成による、単位面積あたりの単位時間あたりの二酸化炭素吸収（放出）量を光合成速度という。純光合成速度とは、総光合成速度から呼吸速度を引いた値。

・ 植生劣化レベル

シカの累積的な採食圧による植生への影響を現地踏査し、3次メッシュ（概ね1kmメッシュ）単位で集計した結果をⅠ～Ⅴの5段階に区分したもの。

レベルⅠ：シカの影響による植生の劣化は見られない

レベルⅡ：シカの採食によるササや低木の矮性化、樹皮食いが若干みられる

レベルⅢ：矮性化したササや低木が目につき、不嗜好性植物や樹皮食いがみられる状態。

レベルⅣ：半数以上のササや低木が矮性化、または消失しており、不嗜好性植物や樹皮食いが目立つ状態。

レベルⅤ：ほとんどのササや低木が矮性化、または消失しており、不嗜好性植物や樹皮食いが目立つ状態。

・ 3次メッシュ

一定の経度、緯度で地域を網の目状に区画する「標準地域メッシュ・システム」により設定された区画。経度差1度、緯度差40分で区画された範囲が1次メッシュ、1次メッシュを縦横8等分したものが2次メッシュ、2次メッシュを縦横10等分したものが3次メッシュである。3次メッシュは約1km四方となっている。

・ 絶滅危惧種

地域の急速な環境変化、移入生物、乱獲などが原因で、すでに絶滅したり、絶滅寸前に追いやられたりした動植物の種のこと。国際的な自然保護機関である国際自然保護連合（IUCN）は、そのような動植物種をリストアップし、「レッドリスト」を作成している。わが国の環境省でも、IUCNのレッドリストにならったリストを作成し、それに基づき「レッドデータブック」をまとめており、神奈川県立生命の星・地球博物館により「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」が作成されている。

・ 遷移

植物の群落がある一つの群落から他の群落に移り変わる過程。群落は固定したもので

はなく、時間とともに移り変わっていき、安定した状態になると極相と呼ばれる状態になる。それまでの移行過程を生態遷移という。火山の噴火等によって生じた裸地から始まる自然のままの遷移を一次遷移、洪水や人為的な攪乱を受けた土地から出発するのを二次遷移という。

・ 対照流域法

互いに近接し、流域の大きさ、地形や地質条件、森林の状態の似通った2流域を選定し、一方を基準流域、他方を処理流域として、数年間流出量その他の観測を行なう。その後、処理流域の森林の状態を変更し、その後も両流域の観測を行なって、流域処理の影響を抽出する調査方法。

・ 丹沢大山クリーンピア21

丹沢大山クリーンピア21は、丹沢大山国立公園を中心とする山岳地帯、およびその周辺の地域の自然を美しく保存するとともに、健全なレクリエーションの場として良好な環境保全に寄与するため、ゴミ持ち帰り運動を推進することを目的として設立。昭和53年、NPO法人丹沢自然保護協会が始めた丹沢大山国立公園を中心とするゴミ持ち帰り運動が母体となり、27の企業・各種団体および行政機関等の協力のもと設立されました。平成23年度現在、会員数は94団体となっています。

・ 丹沢大山自然環境情報ステーション（e-Tanzawa）

神奈川県自然環境保全センターが開発したデジタル化された地図（地形）データと、統計データや位置の持つ属性情報などの位置に関連したデータとを、統合的に扱う情報システム。

丹沢大山総合調査における各調査データをはじめ、他の調査や保全対策に関する情報など、

自然再生事業に不可欠な様々な情報をデータベースとして蓄積し、情報発信と情報共有を図るとともにモニタリングと総合解析結果などを公開している。

・丹沢大山ボランティアネットワーク

丹沢大山で自然環境にかかわる活動を実践しているボランティア団体の自主的な連携を図り行政とのパートナーシップのもとで丹沢大山の自然環境の保全に係る活動の推進を図ることを目的としたネットワーク組織。平成22年度末現在31団体が参加し、各種の保全活動や調査、広報活動などを行っており、丹沢大山総合調査でも実行委員会の公募型事業として、丹沢大山の水質調査を実施しています。

・丹沢のみどりを育む実行委員会

NPO法人丹沢自然保護協会、かながわトラストみどり財団、神奈川県公園協会、丹沢大山ボランティアネットワーク、秦野市、清川村、神奈川県で組織された委員会。丹沢大山自然環境保全対策の一環として、丹沢大山地域において県民参加による自然環境保全活動を実施、支援することを目的としている。植生回復活動（植林やモニタリング）や植樹、ウラジロモミ等をニホンジカの採食から守るための防護ネット設置をボランティアとの協働で開始し、「丹沢大山自然再生計画」に基づいて、植栽木のモニタリング・登山者数カウント調査・森林整備活動・森林活動体験学習プログラムを実施している。

・鳥獣保護区

「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（鳥獣保護法）」に基づいて指定するもので、鳥獣の捕獲を禁止し、鳥獣の積極的な繁殖を図る区域。このうち、特に重要な地域については、特別保護地区を指定して、開発な

どの各種行為を規制している。鳥獣保護区には、国が指定するものと、都道府県が策定する鳥獣保護事業計画の基準に基づき、各道府県が指定するものがある。

・鳥獣保護事業計画

「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（鳥獣保護法）」に基づき、人と野生鳥獣の共生の確保及び生物多様性（別記）の保全を基本として、適正な野生鳥獣の保護管理事業を進めるために都道府県が定める計画。この計画では、鳥獣保護区等の指定及び整備、鳥獣の人工増殖及び放鳥獣、有害鳥獣の捕獲、鳥獣の生息状況の調査、鳥獣保護事業の啓発、鳥獣保護事業の実施体制の整備、特定鳥獣保護管理計画の作成についての方針や実施計画を定めている。

・生物多様性

生物の遺伝子、種、生態系及び景観の多様さをいう。同じ環境のもとでは、多様な生物が生息するほど生態系は健全であると考えられ、希少な種や利用価値のある種を保護するだけでなく、多様な生物が生息する環境そのものを保全することが重要であると考えられている。

・トレイルレース

舗装路でない山野を走るトレイルランニングを競技として行うもの。丹沢山地では登山道を利用したトレイルレースが行われている。

・パッシブサンプラー

ガスや蒸気分子の拡散減少を利用して、活性炭などの補修材に補修する装置。

・ブナハバチ

ハバチ科のヒゲナガハバチ亜科というグループに属す昆虫で、幼虫時代にブナの葉を食害する。丹沢での大発生を期に同定したところ新属新種（新しい属に属する新しい種）とし

て発表され、*Fagineura crenativora* と命名された。

・ブナ衰退度

ブナの衰退状況を把握するため、調査対象に選定したブナの高木について、全体、枝、葉色、葉量を目視で「健全（衰退度0）」から「枯死（衰退度5）」までの6段階で衰退状況を判定したもの。丹沢山地の6地区について、各4本の対象木を選んで調査。

・VOC/NO_x比

揮発性を有し大気中で気体状となる有機化合物（VOC）と窒素酸化物（NO_x）との大気中の比率。

・ブルーリスト

神奈川県もしくは国内に定着している外来生物（海外から人為的に国内に導入された生物）の中から、生態系への影響度合いが大きく、防除対応の可能性があり、丹沢大山地域にすでに侵入もしくは侵入の可能性が高い種を、「丹沢大山地域の生態系に特に影響を与えるおそれのある外来生物」として抽出し、リストとしたもの。

・糞塊法

ニホンジカの生息状況を把握する手法の一つ。一定幅の調査ルートを設定し、ルート上に落ちている糞の塊をカウントする。単位調査距離あたりの糞塊数を算出することで、相対的な生息密度指標として用いることができる。

・ヘアトラップ法

調査地点に有刺鉄線や粘着テープ等で囲いを作り、そこを通過する獣から体毛を採取し、毛根から採取したDNAをもとに個体識別を行い、生息状況を把握する方法。調査地点を

定期的に多数設置することで、生息数を推定することもできる。まだ日本では試験的にしか行われていないが、クマにとって非常にストレスの高い「捕獲」をすることなく、クマの生態を調査することのできる方法。

・ペレットストーブ

木質ペレットを燃料とするストーブのこと。

・誘引ワンウェイゲート

一方向（外から内へ）にしか開閉しないようにしたゲートで、餌を置いて囲いに動物を誘引し、閉じ込める際に使用する。

・のり面

山を切り開いたり、その土を盛ったりしてできる人工的な斜面のこと。

・水切り

登山道を通る雨水により登山道が侵食されることを防ぐことを目的として、雨水を分散させるために道を横断する形で掘った溝。ゴムや丸太等を道に埋め込んで水切りにする場合もある。

・マント・ソデ群落

林の縁部は、低木やツル植物が繁り森林を被っている。この低木やツル植物の繁っているところを「マント群落」、草の繁っているところを「ソデ群落」と呼んでいる。

・リター

森林内において地表に落下した、葉や枝、種子、花、樹皮などの総称。

・林床植被ランク

林床を覆っている植物の植被率を現地踏査し、3次メッシュ（概ね1kmメッシュ）単位で集計した結果を25%ごとに区分したもの。

- ・ L V L

2～4mm程度の単板を、数層から数十層、繊維方向を平行にして積層、接着した「単板積層材」。

- ・ わな猟免許

「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（鳥獣保護法）」に基づき狩猟を行うために必要な免許を狩猟免許といい、法定猟具のわなを使用して狩猟を行うためにはわな猟免許が必要となる。